

	質問	回答
1	【避難所】 多度学園の体育館の冷暖房はつくのか。	現在、予算計上している段階であることから確定ということではないが、緊急避難時に自家発電装置や蓄電池を使って冷暖房が使用できるように考えている。 (訂正)→多度学園体育館には冷暖房の設置を予定している。現在、緊急避難時の最低限の電力供給のための自家発電装置の予算を計上しているが、本発電装置の容量では停電時に冷暖房の使用はできない。
2	【避難所】 この辺りで一番危険なのは養老断層地震と 思っている。地震の起こる確率は熊本地震と 同程度と認識している。養老断層地震が発生 した場合、多度学園は利用できるのか。	実際に起こってみないとわからない部分があるため断言できるものではない が、その辺りも考慮した設計となっていることから大丈夫であると考えてい る。
3	【避難所】 指定避難所の収用場所として教室を利用する という前提だが、教室を利用することで教育 活動が止まってしまう。教室を利用すること についての見解を教えてください。 また、教室を避難所として利用する場合と利 用しない場合で人数の違いはどうか。	一般的な台風、風水害では教室の使用はあまり考えていない。しかし大規模災 害が起こって浸水し、長時間水が引かないことや、大きな地震が発生し倒壊す ることがあった場合は、教室を使うことを想定している。このような場 合は、学校活動が再開できるような状況にはないと思う。学校活動が再開で きるまでの間は、教室も利用していただきたいと考えている。 収容人数について仮に教室を使用しなかった場合であったとしても、他の施設 を含めておよそ2,000人程度の収容が可能ではないかと考えている。
4	【PCB】 学校や体育館を使い続けたい場合、コンデン サ等の交換費用はどのぐらいかかるのか。	変圧器やコンデンサを改修した場合の費用について、パターンは2つある。 ①校舎及び体育館の両施設を使用 約500万円/校の費用が必要である。 ②体育館のみを使用 低圧線を体育館まで引き込むための工事費用等により約1,000万円/校の費用が 必要である。
5	【PCB】 (問4の回答を受けて) 体育館は自家発電しな くても、家庭用の電気を持ってきたら問題な いと思う。電力会社が大部分無料で引き受け るのでは？改修の費用が高すぎるのでは？	現在、市で見積をとったのは家庭用の電気を体育館で使う場合である。専門事 業者に見積を依頼したところ、1,000万円程度の費用がかかるという結果で あった。いただいた意見を参考に再度民間事業者への聞き取りを行いたい。 (追記)主に低圧線を引き込むための構内建柱・装柱設備工事、新たに照明器 具等の機器に電力を供給するための幹線設備工事や消防設備工事にかかる費用 が発生するため。
6	【民間への売却】 民間事業者に売却する場合は、体育館の利用 はできないし、避難所として使えない。更地 にするのと変わらないのではないか。利用の 仕方を教えてください。	現在、サウンディング調査を実施中。現在校舎や体育館があるという状況の中 で、今までお聞きしている地域からのご意見やご要望についてはどう考えるの か、どの程度加味してもらえるのかを事業者には併せて協議を行う予定。今後 事業者からの提案次第では、校舎や体育館が使える可能性もあると考えてい る。
7	【跡地活用方針】 多度学園は、1年生から9年生までの子どもた ちが集まってくる。低学年にとってはそれだ けでもすごいストレスである。また帰宅後も 遊べる場所がなく、子どもたちの不安定さが 増えると思う。まずは子どもたちのために、ま たスポーツ団体の利用や避難所の観点からも 体育館やグラウンドを残して欲しい。	サウンディング調査を実施していく中で、地域に貢献する提案として避難所と して使い続けることができるか、また体育館など運動する場として使用し続け ることができるのかなどの確認をしていく。 ただしこれは提案の条件ではないため、事業者との対話の中で実現できるで きないということを確認していきたいと考えている。
8	【PCB】 市の基金が6億円も増えていることから、コン デンサの改修費用は賄えると思う。	桑名市の財政状況は改善してきている。ただし、1960年代から80年代にかけ て、多くの公共施設が高度経済成長期に建設されて、それが一斉に老朽化し、 設備の更新が一気に必要となる。 これを順次行っていくためには、財源をどう使っていくのか、また多度学園を 建設する際に、国に起債を借りている。こういったことから、廃校となる学校 については、除却あるいは所有権を変える形で検討していかなければならな いため、その点も踏まえて今後の利活用を検討していきたい。
9	【避難所】 災害発生時は多度学園に避難をというが、全 然ゆとりがない。サウンディングの条件とし て、避難所としての役割をつけてほしい。	特に水災害の場合、今ある小中学校については非常に水害リスクの高い場所 にあるので、避難が必要な時は浸水する可能性のある学校に避難はお勧めでき ない。今ある学校が残ったとしても非常に使用が限定的になってしまったため、そ の点についてはご理解をいただいた上で避難先も確保していただきたい。

	質問	回答
10	【サウンディング】 起債の条件で学校を減らさないといけないことから、跡地を更地にすることが前提であり、この説明会はアリバイ作りであると思う。 サウンディングの募集について、市は予算をつけて事業者へ募集を行うのか。 また施設を除却しない場合、今回の多度学園建設の際に借りている起債要件に違反しないのか。	市が金銭的な負担をして、事業者に補助を出すことは考えていない。 供用開始後5年以内の除却という起債を借りるに当たっての条件に反して施設等を残しておく場合については、その条件のもとで国から交付される地方交付税が交付されなくなる。
11	【跡地活用方針】 元々多度の学校建設に際し、地域住民が寄附をした土地がある。その土地を簡単に民間に売却するとはいかなものか。 また、なぜ市役所がもっと主体的に物事に取り組まないのか。サウンディング調査のようなやり方ではなく、市が主催者として、中心になってやっていただきたいと思う。	今回いろいろなご意見をいただいたので、しっかりと検討してまいりたい。
12	【跡地活用方針】 もっと具体的な跡地活用方針を説明してほしい。責任感を持って、具体的にやっていただきたい。 跡地活用で民間の意見を取り入れることには賛成だが、行政の考えがない。民間から案が出なかったら、更地にすればいいという考え。	今回サウンディング調査を行いながら、今後しっかりと各学校区に案等をお示しさせていただきたい。
13	【サウンディング】 サウンディングの募集要領記載の地域への貢献に対する提案について、その提案がない場合でもその事業者売却（譲渡）する可能性はあるのか。	サウンディングの提案に必要な項目の一つとして、地域への貢献に対する提案、生活利便性の向上や、災害対策への協力、スポーツ団体の施設利用への協力などということを手挙げている。事業者によっては地域への貢献はできないという回答の可能性はゼロではないが、その回答でサウンディングの提案は受けさせていただく。 上記のように地域の貢献は何もできませんという提案があった時には、提案の内容を総合的に踏まえて、実現可能な提案なのかどうかというものをしっかりと見極めて判断していくことになると考えている。
14	【サウンディング】 サウンディングを実施するにあたり、市が建物を取り壊した上で無償譲渡するということも検討してもらえるのか。	最終的に提案としてまとまらなければ、令和12年度末までに更地にする形になるため、その際は桑名市が費用負担の上、解体・撤去の工事を行うが、今の段階で市が建物を取り壊した上で無償譲渡するということは考えていない。
15	【説明会】 もう一度説明会を開いて進捗状況などを教えてほしい。	時期については調整させていただくが、サウンディング調査が終わり次第、その結果を持って開催する方向で考えている。
16	（問15の回答を受けて）私たち（自治会）もサウンディングに参加ことは可能であるため、サウンディングの前に（サウンディングについての）説明会の開催をお願いしたい。	ご要望としてお聞きします。 →後日、多度地区各自治会宛にサウンディング事前相談会の通知文を送付。
17	【サウンディング】 市が現時点で学校施設を前倒しで取り壊す考えはないのか。	現時点ではないが、サウンディング調査の中で色々な事業者の方の意見を聞きながら、今後の方向性を考えていきたい。